

Giornate di studi riabilitativi italo-giapponesi



L'agenda del mio viaggio

01 :

旅立ちの日まで

「サントルソに行こう。」とまでは正直思っていなかった、秋口の頃。スケジュール帳と自分の気持ちの間を行ったりきたり。煮えつかないでいた。11月初旬には参加の意思があるかどうかを示さなければならなかった。どうするか分からないまま、意思を伝えるメールを送信した。

まず、私は飛行機が嫌い。前はそう思わなかったけど、同時多発テロ以来飛行機が怖い。最近では特急列車も怖くなっていった。そんな状態で、何時間も飛行機の中で穏やかに過ごせる自信がなかった。また、休みが取れるか？

自分の体調は万全か？不安材料が多かった。そんな気持ちのまま、名古屋のアドバンスに参加。しかし、私に転機が訪れた。アドバンスコース最終日の終了時の映像。サントルソの Villa Miari の映像。何故か分からないが、「サントルソに行かなくては。」と、心が切り替わった。気持ちに何かが後押ししてくれた。

それからの年末、慌しく毎日を過ごした。パスポートの更新、旅行代理店との連絡。ネットで過去のマスターコース参加者の様子などの情報収集。また、滅多に見ない為替相場のサイトも逐一チェックした。MIXI では、イタリア旅行に関するコミュニティやイタリア語に関するコミュニティに参加し、トピック間で様々なアドバイスをもたらした。途中、私自身のハンドルネーム「Regina」がイタリア語と判明した。友人から命名してもらったのだが、イタリア語で「女王」を指しているらしい。

旅行代理店は「ワールドエアサービス」を利用した。福岡から単独であることへの不安を伝えていたので、同日出発者の参加者と旅程を合わせていただいた。感謝・感謝である。宿泊するホテルも参加者と同じホテルを紹介していただいた。これで、半分の不安感が軽減された。

一通り手続きが完了すると、後は「いかに旅を楽しむか」に妄想を抱く毎日。怖い思いをして、イタリアに行くのだから、サブの目標も必要だろうと考えた。私の少ない趣味の一つに「写真」がある。旅の思い出に、手元におけるフォトブックを作ろうと策を練った。私は、マイブックというサイトを利用して、過去に数冊フォトブックを作成している。これがまた、自由度の高いシステムで、好きな写真を好きなデザインに加工でき、CDのブックレット様のものから、本格的な写真集の様な形式まで幅広くアレンジができる優れたもの。また、このマイブックのサイト上で過去8年間まで登録された他者のフォトブックを閲覧できる。分野別に“ウェディング”や“子供”、“建築”など掲載させており、もちろん“旅行”の分野もある。私が気に入っている作成者のフォトブックを閲覧し、構想を練る。また、レイアウトに関する書籍やデザインに関する書籍を読み直し、大まかなフォトブックの方向性を決めた。後は、肝心の写真をどう撮るかに頭を悩ませることになった。美しい写真を撮るには一眼レフを同行させるのが一番いい。それもデジタルでなくフィルムに限る。色の鮮やかさにデジタルはフィルムを越すことはないと思っている。しかし、一眼レフを飛行機に同行させたこともなく、紛失や破損（気圧の変化に伴う結露が一番心配）、スリにあった場合の事を想定して、盗まれても壊れてもいいカメラを同行させることにした。通常のデジカメとイカメラである。これは思い返すと、一番の後悔する点である。失敗であった。

フォトブックの構想が決定すると、旅の日記帳の構想に入った。良いフォトブックを作るのに写真も必要だが、写真に与える情報も必要。帰国してから悔やんでも後の祭りなので、事前に構想を練る。数店を回り、「地球の歩き方 マイ・トラベル・ダイアリー」に出会う。これもまた優秀なもので、旅のチェックリストからトラフィックメモ、日記、金銭管理、緊急連絡先など多彩なフォーマットが活用できる。私にこのダイアリーは大きな旅のヒントを与えてくれた。“フリースペースにレストランのカードやワインのラベルを貼り付けてみて!!” このヒントは、旅の終わりに大きな思い出と情報量を残してくれた。感謝・感謝である。

旅立ちの日まで…不安も大きかったが、忘れがたい楽しい時間を過ごしたと思っている。



旅に連れていったものたち&more



「日記・ガイドブック・会話帳」
これには本当にお世話になりました。分からないときは、会話帳を直接店員に見せて使いました。



「地球の歩き方 マイ・トラベル・ダイアリー」
マスキングテープを持参し、店のカードやレシートなど貼って使用しました。食事では何を食べたか、列車は何時発のものに乗車したかなどたくさん書き込みました。日記は最初だけ…コース中は疲れて書けませんでした…

日次	目的地	出発時刻	到着時刻	備考
1日目 成田発	成田発	07:15	NB210	飛行機予約済みにて、成田発着時、乗降、荷物整理を済ませます。
2日目 成田発	成田発	11:20	LA141	成田、スミエ航空ビルにて、シャトルバス乗降場へ。乗降、荷物整理を済ませます。
	ヴェネツィア国際空港	07:30	LA140	ヴェネツィア国際空港にて、ヴェネツィア・マルコポーロ空港へ。乗降、荷物整理を済ませます。 *空港からの移動は、出発バスにて送迎いたします。 *送迎バス
3日目 ベネチア	ヴェネツィア	09:50	AT104	出発バスにて
	ヴェネツィア・マルコポーロ空港	10:50	AT104	乗降、荷物整理を済ませます。ヴェネツィア市内へ移動。乗降、荷物整理を済ませます。
	ヴェネツィア・サンマルコ	16:50	AT104	上記の列車は往きのみの列車で、荷物整理もできません。 乗降、荷物整理を済ませます。
4日目 ベネチア	ベネチア	07:30		ヴェネツィア市内へ移動。
	ベネチア	08:30		ヴェネツィア市内へ移動。
5日目 ベネチア	ベネチア	07:30		ヴェネツィア市内へ移動。
	ヴェネツィア	08:30		ヴェネツィア市内へ移動。
6日目 ベネチア	ヴェネツィア	09:50	AT104	上記の列車は往きのみの列車で、荷物整理もできません。 乗降、荷物整理を済ませます。 *送迎バスにて送迎いたします。
	ヴェネツィア国際空港	13:00	LA140	成田、スミエ航空ビルにて、乗降場へ。乗降、荷物整理を済ませます。
7日目 成田発	成田発	09:20	NB210	乗降、荷物整理を済ませます。
	成田発	11:20	NB210	成田、スミエ航空ビルにて、乗降場へ移動。乗降、荷物整理を済ませます。 *送迎バスにて送迎いたします。*

- 「旅程表」
ワールドエアサービスに全ての旅程を依頼しました。私は福岡空港からの出発で成田までの便もあり、比較的乗り継ぎも楽でした。荷物も福岡空港から途中で介入することなくベネチアまでそのままでした。
- ～ワールドエアサービスから届いたもの～
- * 旅程表
 - * 航空券
 - * 列車のチケット&乗車方法
 - * ベネチアからのシャトルバスの案内表
 - * ベネチアの地図&スキオの地図
 - * ベネチア空港の案内&チューリッヒ空港の案内
 - * 各種ガイドブック
- …etc



旅のおともで役立ったもの

- * 手袋・マフラー・ニット帽…ベネチアは天候が悪く寒かったです。
- * 折り畳み傘…ベネチアは初日・最終日ともに雨と雪でした。
- * アーツ…イタリアの道は石畳なので底冷えします。ベネチアでは冠水していたので助かりました。
- * ユニクロのヒートテックシリーズ…タイツや肌着はこのシリーズで。私は冷え性。